

平成20年度

沖縄県病院事業会計決算審査意見書

沖 縄 県 監 査 委 員

平成21年 9 月 8 日

沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿

沖縄県監査委員 又吉 春三

沖縄県監査委員 幸地 啓子

沖縄県監査委員 嘉陽 宗儀

沖縄県監査委員 池間 淳

平成20年度沖縄県病院事業会計の決算審査意見書について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成20年度沖縄県病院事業会計の決算について審査を実施したので、別添のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	
1	審査の対象	1
2	審査の手続き	1
第2	審査の結果及び意見	
1	審査結果	2
2	審査意見	4
第3	決算の概要	
1	事業の概要について	6
(1)	病院等の設置状況	6
(2)	当初業務予定量と実績	8
(3)	施設の利用状況	9
(4)	建設改良工事等	10
(5)	職員数	11
2	決算諸表の概要について	12
(1)	決算報告書	12
(2)	損益計算書	15
(3)	剰余金計算書	23
(4)	欠損金処理計算書	25
(5)	貸借対照表	26
3	資金収支について	30
付 表		
別表1	経営分析比率表	31
別表2	病院別比較損益計算書	32
別表3	病院別経営指標	35
別表4-1	資金運用表	36
別表4-2	正味運転資本増減明細書	36
別表5	資金収支表	37

第1 審査の概要

1 審査の対象

地方公営企業法第30条第2項の規定により、平成21年8月3日付け総財第805号をもって審査に付された平成20年度沖縄県病院事業会計の決算書及び決算附属書類について、下記7箇所の実地審査等も含め、審査を実施した。

記

沖縄県立北部病院

沖縄県立中部病院

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

沖縄県立宮古病院

沖縄県立八重山病院

沖縄県立精和病院

県立病院課

2 審査の手続き

審査に当たっては、病院事業の運営が常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されているかどうかについて特に意を用い、決算書及び決算附属書類が事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証した。

審査は、会計伝票、会計帳簿、証拠書類との照合を行うなど必要と認められる審査手続きを適用したほか、必要に応じ資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、例月現金出納検査及び定期監査の結果も踏まえ実施した。

第2 審査の結果及び意見

1 審査結果

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法（以下「法」という。）等の関係法規に準拠して作成され、その計数は正確であり、平成20年度の経営成績及び平成21年3月31日現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

(1) 経営成績

平成20年度の決算について経営成績を見ると、表1のとおりである。

病院事業収益は、前年度に比較して29億8,124万6,006円（6.7%）減少している。その主な要因は、前年度において計上した旧那覇病院跡地売却益の皆減等により、特別利益が23億4,062万7,193円減少したことによるものである。

病院事業費用は、医業費用、医業外費用とも減少し、前年度と比較して19億6,573万5,632円（4.3%）減少している。その主な要因は、診療材料費縮減プロジェクトの実施等による材料費の減3億8,833万985円、固定資産の減価償却費の減2億1,839万5,276円、資産減耗費の減8億6,515万5,932円である。資産減耗費については、前年度において計上した、旧那覇病院の建物除却費8億5,323万4,363円が減になったことなどによるものである。

その結果、病院事業収益から病院事業費用を差し引いた当年度の純損失は、前年度と比較して10億1,551万374円（84.1%）増加し、22億2,242万3,192円となっている。

これにより、当年度未処理欠損金（累積赤字）は238億7,835万8,528円と増大している。

本業における医業損失は43億901万5,934円で、前年度と比較して19億1,059万6,040円（30.7%）の減少となり、経営努力の成果は認められるが多額に上り、なお一層の努力が求められる。

(2) 財政状態

平成20年度の財政状態は、表2のとおりである。

資産は、固定資産が減少し、流動資産も減少している。

負債は、一時借入金や未払金の減により流動負債が減少し、負債合計は減少している。

資本は、借入資本金の減により、資本合計は減少している。

前年度は、流動負債が流動資産を上回る額いわゆる不良債務が、37億9,546万5,261円発生したが、平成20年度は不良債務は発生していない。

流動比率は、前年度の73.0%から142.2%へと上昇しており、資金繰りは大幅に改善している。

自己資本構成比率は、前年度の15.9%から19.9%へと改善している。

表1 経営成績

区 分 科 目	平成20年度		平成19年度		対前年度比較	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	増減額	増減率
	円	%	円	%	円	%
病院事業収益	41,568,821,625	100.0	44,550,067,631	100.0	△ 2,981,246,006	△ 6.7
医業収益	37,521,877,811	90.3	37,338,662,922	83.8	183,214,889	0.5
(入院収益)	27,595,732,834	66.4	27,774,382,707	62.3	△ 178,649,873	△ 0.6
(外来収益)	7,910,417,597	19.0	7,705,576,014	17.3	204,841,583	2.7
(診療所収益)	557,160,478	1.3	573,585,116	1.3	△ 16,424,638	△ 2.9
(その他医業収益)	1,458,566,902	3.5	1,285,119,085	2.9	173,447,817	13.5
医業外収益	4,022,173,520	9.7	4,846,007,222	10.9	△ 823,833,702	△ 17.0
一般会計繰入金	2,864,128,000	6.9	3,878,864,000	8.7	△ 1,014,736,000	△ 26.2
その他	1,158,045,520	2.8	967,143,222	2.2	190,902,298	19.7
特別利益	24,770,294	0.1	2,365,397,487	5.3	△ 2,340,627,193	△ 99.0
病院事業費用	43,791,244,817	100.0	45,756,980,449	100.0	△ 1,965,735,632	△ 4.3
医業費用	41,830,893,745	95.6	43,558,274,896	95.2	△ 1,727,381,151	△ 4.0
(給与費)	24,776,469,751	56.7	24,981,491,044	54.6	△ 205,021,293	△ 0.8
(材料費)	9,128,033,192	20.8	9,516,364,177	20.8	△ 388,330,985	△ 4.1
(経費)	5,414,576,393	12.4	5,433,604,195	11.9	△ 19,027,802	△ 0.4
(減価償却費)	2,351,943,265	5.4	2,570,338,541	5.6	△ 218,395,276	△ 8.5
(資産減耗費)	55,484,040	0.1	920,639,972	2.0	△ 865,155,932	△ 94.0
(研究研修費)	104,387,104	0.2	135,836,967	0.3	△ 31,449,863	△ 23.2
医業外費用	1,864,858,379	4.2	2,092,420,042	4.6	△ 227,561,663	△ 10.9
(支払利息)	938,936,818	2.1	1,096,127,043	2.4	△ 157,190,225	△ 14.3
(その他)	925,921,561	2.1	996,292,999	2.2	△ 70,371,438	△ 7.1
特別損失	95,492,693	0.2	106,285,511	0.2	△ 10,792,818	△ 10.2
当年度純損失	2,222,423,192	-	1,206,912,818	-	1,015,510,374	84.1
前年度繰越欠損金	21,655,935,336	-	20,449,022,518	-	1,206,912,818	5.9
当年度未処理欠損金	23,878,358,528	-	21,655,935,336	-	2,222,423,192	10.3

表2 財政状態

区 分		平成20年度	平成19年度	対前年度比較	
		金額・比率	金額・比率	増減額	増減率
		円	円	円	%
資産合計	A	60,077,168,648	62,954,006,281	△ 2,876,837,633	△ 4.6
(固定資産)		49,362,979,999	51,614,277,339	△ 2,251,297,340	△ 4.4
(流動資産)	B	9,757,860,026	10,268,496,784	△ 510,636,758	△ 5.0
(うち繰越財源)	C	(1,400,000,000)	(0)	(1,400,000,000)	皆増
負債合計		13,881,750,336	16,101,864,574	△ 2,220,114,238	△ 13.8
(流動負債)	D	6,863,847,807	14,063,962,045	△ 7,200,114,238	△ 51.2
資本合計		46,195,418,312	46,852,141,707	△ 656,723,395	△ 1.4
(自己資本金)	E	1,878,584,732	1,878,584,732	0	-
(剰余金)	F	10,082,612,064	8,133,251,926	1,949,360,138	24.0
(借入資本金)		34,234,221,516	36,840,305,049	△ 2,606,083,533	△ 7.1
不良債務	G = D - B + C	-	3,795,465,261	3,795,465,261	-
(不良債務比率)	G / 医業収益	-	10.2	-	-
(流動比率)	B / D	142.2	73.0	-	69.2
(自己資本構成比率)	(E + F) / A	19.9	15.9	-	4.0

2 審査意見

県立病院は、救命救急医療、高度・特殊医療、離島・へき地医療を担うとともに医師の確保に向けて医師臨床研修制度の拡充を図るなどその役割機能の充実に努め、県民の多様化する医療ニーズに対応してきた。

平成20年度決算においては、各病院の経営改善努力による医業収益の増があったが、負担金交付金の減による医業外収益の減、特別利益の減等があったため、22億2,242万3,192円の単年度純損失を計上している。このうち特別利益の減については、前年度において計上した旧那覇病院跡地売却益23億4,399万3,928円が皆減になったことによるものである。

その結果、県立病院事業の累積欠損金は、平成20年度末で238億7,835万8,528円に上り、きわめて厳しい経営状況がつづいている。

県立病院が今後とも公的医療機関としての役割を果たすためには、公営企業として経営体制の改善と経営力の向上を図るなど、より企業性を発揮した事業運営に努め、健全経営を確保することが求められている。

病院運営にあたっては次の事項に留意し、適切な措置を講じるよう要望する。

(1) 「経営再建計画」の取り組みについて

病院事業局は、平成21年3月に平成21年度から平成23年度を計画期間とする「経営再建計画」を策定している。同計画においては、不良債務及び資金不足の解消並びに経常収支の黒字化という3つの目標を掲げ、国の制度の活用や一般会計の支援を得ながら、経営全般にわたる改革に取り組むこととしている。同年4月には、「経営再建計画実行宣言」を行い病院事業関係職員が一体となって、経営再建に努めているところである。

前年度は、流動負債が流動資産を上回り不良債務比率が10.2%であったが、平成20年度は、公立病院特例債等の活用により不良債務は発生していない。

経営健全化に向けて、医業収支及び資金繰りの改善など、同計画を着実に推進する必要がある。なお、同計画の進捗評価を行うための外部評価システムを導入することが望まれる。

ア 医業収支の改善

医業収益に対する職員給与費の割合は66.0%と、前年度に比較して0.9ポイント低下している。

また、材料費については、薬品、診療材料の一括契約の実施、後発医薬品の採用拡大等により経費が節減されており、一定の成果が上がっている。今後とも引き続きその強化を図る必要がある。

イ 未収金対策

個人負担分医業未収金の縮減に向けて、各部門の連携を図るほか債権回収サービス業者への委託を行うなど、その取り組みを強化してきた。

しかしながら、平成20年度末における個人負担分の医業未収金残高は、17億9,511万6,962円となり、前年度に比較して4,947万6,882円(2.8%)増加している。

未収金については、新規発生の抑制に努めるとともに、債務者の実態に応じた適切な債権管理を行うなど取り組みを強化する必要がある。

(2) 医師等医療スタッフの確保等について

離島・へき地医療、救命救急医療、高度・特殊医療等、県民の医療ニーズに対応し、安定した医療サービスを提供するためには、医師・看護師等を安定的に確保する必要がある。

一部の診療科に医師不足がみられることから、医師臨床研修制度の充実を図り医師の養成・確保に努めるとともに、大学など関係機関との連携を一層強化するなど、医師の安定的な確保に向けて、引き続き諸方策を講ずる必要がある。

また、看護師については、幅広い年齢層から優秀な人材の確保を図るとともに、看護師の勤務体制の改善を進めるなど、引き続き確保に向けた諸方策を検討する必要がある。

(3) 「公立病院改革プラン」等について

病院事業局は、国が示した「公立病院改革ガイドライン」に基づいて、平成21年3月に、平成21年度から平成23年度を計画期間とする「公立病院改革プラン」を策定している。

また、県は平成21年3月に「沖縄県医療審議会」からの答申、県議会の決議、市町村長等の意見を踏まえ、同年6月に「県立病院のあり方に関する基本構想」を策定している。

同改革プラン等には経営の効率化、県立病院の役割、病院の再編・ネットワーク化、経営形態の見直し等の内容が示されている。

以上のことを踏まえて、医療は県民の生命及び健康を守り、生活の安心を支える重要な機能であり、地域において必要とされる医療提供体制を確保することは県の責務であることから、そのための総合的方策を積極的に推進する必要がある。

第3 決算の概要

1 事業の概要について

(1) 病院等の設置状況

本県の病院事業は、県民の健康保持に必要な医療を提供することを目的として、次表のとおり沖縄県病院事業の設置及び管理に関する条例（昭和47年条例第35号）第2条第2項の規定により設置された6病院及び同条第3項の規定により設置された29箇所の附属診療所のうち16箇所の附属診療所を運営してきた。

休止又は廃止に係る13診療所のうち、池間、伊原間については親病院等から巡回診療を実施している。

県立病院及び附属診療所の状況

病院名	病床数	附属診療所	休止又は廃止の附属診療所
北部病院	327	伊平屋、伊是名、奥、安田、平良、古宇利、瀬底、嘉陽、久志	奥、安田、古宇利、平良、瀬底、嘉陽、久志
中部病院	550	伊計、宮城、浜、津堅	伊計、宮城、浜
南部医療センター・こども医療センター	434	久高、渡嘉敷、座間味、阿嘉、渡名喜、栗国、北大東、南大東	
宮古病院	393	池間、多良間	池間
八重山病院	350	伊原間、大原、西表西部、小浜、波照間、鳩間	伊原間、鳩間
精和病院	300		
6病院	2,354床	29箇所	13箇所

平成19年10月1日現在における本県及び全国の医療施設の状況は次表のとおりである。

本県における県立病院事業施設の占める割合は、病院数が6.4%、診療所数が2.0%、病床数で12.0%となっている。

一方、全国平均は病院数が3.1%、診療所数が0.3%、病床数で4.7%となっている。

本県は、全国に比較して県立病院等の占める割合が高い状況にある。

医療施設の状況

沖縄県

(各年10月1日現在)

区 分	病 院				診 療 所			
	施設数		病床数		施設数		病床数	
	平成19 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成18 年度
県内医療施設	94	94	19,579	19,689	792	787	1,770	1,832
うち県立病院事業施設	6	6	2,354	2,359	16	18	0	0
県立病院の占める割合(%)	6.4	6.4	12.0	12.0	2.0	2.3	0.0	0.0

資料：厚生労働省「医療施設動態調査」

医療施設の状況

全国

(平成19年10月1日現在)

区 分	病 院		診 療 所	
	施設数	病床数	施設数	病床数
全国医療施設	8,862	1,620,173	99,532	155,143
うち都道府県立施設	277	75,734	283	132
都道府県立施設の占める割合(%)	3.1	4.7	0.3	0.09

資料：厚生労働省「医療施設動態調査」

(2) 当初業務予定量と実績

各病院においては、事業年度の当初において経営活動の基本的目標として業務の予定量を定めることとしており、病院事業では、患者数を主な業務予定量として設定している。

平成20年度において予定した患者数及び決算における実績は、次表のとおりである。

入院患者数は、全体では予定量より28,854人(4.0%)下回っている。

八重山病院及び精和病院を除く全病院で実績が予定量を下回っている。

外来患者数は、全体では予定量より1,513人(0.2%)上回っている。

北部病院及び八重山病院を除く全病院において実績が予定量を上回っている。

入院・外来患者の合計では、全体で予定量より27,341人(1.7%)下回っている。

精和病院を除く全病院では実績が予定量を下回っている。

病院別当初予定量と実績の比較(平成20年度)

(単位:人、%)

区分 病院名	入 院			外 来			合 計		
	予定量	実績	増減	予定量	実績	増減	予定量	実績	増減
北部病院	106,941	100,639	△ 6,302 (△5.9)	134,444	132,952	△ 1,492 (△1.1)	241,385	233,591	△ 7,794 (△3.2)
中部病院	195,147	185,628	△ 9,519 (△4.9)	202,265	206,651	4,386 (2.2)	397,412	392,279	△ 5,133 (△1.3)
医療センター	155,599	146,492	△ 9,107 (△5.9)	155,233	159,028	3,795 (2.4)	310,832	305,520	△ 5,312 (△1.7)
宮古病院	98,098	93,419	△ 4,679 (△4.8)	111,221	112,668	1,447 (1.3)	209,319	206,087	△ 3,232 (△1.5)
八重山病院	88,875	89,291	416 (0.5)	141,401	130,984	△ 10,417 (△7.4)	230,276	220,275	△ 10,001 (△4.3)
精和病院	83,147	83,484	337 (0.4)	24,666	27,991	3,325 (13.5)	107,813	111,475	3,662 (3.4)
診療所計	0	0	0	66,592	67,061	469 (0.7)	66,592	67,061	469 (0.7)
合計	727,807	698,953	△ 28,854 (△4.0)	835,822	837,335	1,513 (0.2)	1,563,629	1,536,288	△ 27,341 (△1.7)

(注) () 書きの数字は増減率である。

年度別当初予定量と実績の過去3ヶ年間の状況は、次表のとおりである。

年度別当初予定量と実績の動向

(単位:人、%)

区分 年度	入 院			外 来			合 計		
	予定量	実績	増減	予定量	実績	増減	予定量	実績	増減
平成18年度	729,077	696,821	△ 32,256 (△4.4)	844,206	804,052	△ 40,154 (△4.8)	1,573,283	1,500,873	△ 72,410 (△4.6)
平成19年度	729,061	715,750	△ 13,311 (△1.8)	807,872	851,297	43,425 (5.4)	1,536,933	1,567,047	30,114 (2.0)
平成20年度	727,807	698,953	△ 28,854 (△4.0)	835,822	837,335	1,513 (0.2)	1,563,629	1,536,288	△ 27,341 (△1.7)

(3) 施設の利用状況

病院名	年度	入院			外来患者 延 数 (B)	計 (A)+(B)	1日平均患者数			外来入院 患者比率 (B)/(A)
		患者延数 (A)	病床数	病 床 利用率			入院	外来	計	
		人	床	%	人	人	人	人	人	%
北部病院	平成20年度	100,639	327	84.3	145,908	246,547	276	603	879	145.0
	平成19年度	105,404	327	88.1	146,072	251,476	288	596	884	138.6
	前年度比較	△ 4,765	0	△ 3.8	△ 164	△ 4,929	△ 12	7	△ 5	6.4
中部病院	平成20年度	185,628	550	92.5	209,375	395,003	509	865	1,374	112.8
	平成19年度	192,914	550	95.8	210,125	403,039	527	858	1,385	108.9
	前年度比較	△ 7,286	0	△ 3.3	△ 750	△ 8,036	△ 18	7	△ 11	3.9
南部医療センター・こども医療センター	平成20年度	146,492	434	92.5	187,842	334,334	401	776	1,177	128.2
	平成19年度	152,163	434	95.8	188,775	340,938	416	771	1,187	124.1
	前年度比較	△ 5,671	0	△ 3.3	△ 933	△ 6,604	△ 15	5	△ 10	4.1
宮古病院	平成20年度	93,419	393	65.1	118,650	212,069	256	490	746	127.0
	平成19年度	95,217	393	66.2	119,795	215,012	260	489	749	125.8
	前年度比較	△ 1,798	0	△ 1.1	△ 1,145	△ 2,943	△ 4	1	△ 3	1.2
八重山病院	平成20年度	89,291	350	69.9	147,569	236,860	245	610	855	165.3
	平成19年度	87,438	350	68.3	160,578	248,016	239	655	894	183.6
	前年度比較	1,853	0	1.6	△ 13,009	△ 11,156	6	△ 45	△ 39	△ 18.3
精和病院	平成20年度	83,484	300	76.2	27,991	111,475	229	116	345	33.5
	平成19年度	82,614	300	74.7	25,952	108,566	226	106	332	31.4
	前年度比較	870	0	1.5	2,039	2,909	3	10	13	2.1
合 計	平成20年度	698,953	2,354	81.3	837,335	1,536,288	1,915	3,460	5,375	119.8
	平成19年度	715,750	2,354	83.0	851,297	1,567,047	1,956	3,475	5,431	118.9
	前年度比較	△ 16,797	0	△ 1.7	△ 13,962	△ 30,759	△ 41	△ 15	△ 56	0.9

(注) 外来患者数は、診療所の外来患者数を含む。

施設の利用状況を見ると、平成20年度の入院患者延数は698,953人で、前年度に比較して16,797人(2.3%)減少している。

外来患者延数は837,335人で、前年度に比較して13,962人(1.6%)減少している。精和病院を除く全病院で減少しているが、八重山病院で減少が大きい。

入院と外来を合わせた患者延数は1,536,288人で、前年度に比較して30,759人(2.0%)の減少となっている。

患者数が減少した主な要因は、中部病院における内科等の休床による入院患者数の減、及び八重山医療圏において、民間医開業増による外来患者数の減等によるものである。

病床利用率は、81.3%で、前年度の83.0%に比較して1.7ポイント下回っている。

外来入院患者比率は119.8%で、前年度の118.9%に比較して0.9ポイント上回っている。

(4) 建設改良工事等

建設工事については該当ない。

改良工事については、精和病院空調設備取替工事を実施した。

保存工事については、中部病院の循環器X線装置、放射線治療システム、南部医療センター・こども医療センターの東芝デジタル装置管球交換、X線CT管球交換、宮古病院のCT用X線管球取替、八重山病院のアンギオ装置管球交換工事等を実施した。

(5) 職員数

定数と現員

年度	区分	医師	看護部門職員	医療技術員	事務職員及び その他職員	計
		人	人	人	人	人
平成20年度	定数	302	1,481	283	226	2,292
	現員	298	1,466	278	231	2,273
	欠員	4	15	5	△ 5	19
平成19年度	定数	300	1,456	284	241	2,281
	現員	298	1,487	285	235	2,305
	欠員	2	△ 31	△ 1	6	△ 24
対前年度 比較増減	定数	2	25	△ 1	△ 15	11
	現員	0	△ 21	△ 7	△ 4	△ 32
	欠員	2	46	6	△ 11	43

(注) 診療所分を含む。

病床100床当たり職員数 (常時雇用する臨時職員を含む。)

年度	医師	看護部門職員	医療技術員	事務職員及び その他職員	計
	人	人	人	人	人
平成20年度	19.9	66.9	10.1	16.7 (10.6)	113.7
平成19年度	20.1	67.5	10.3	16.8 (10.5)	114.7
対前年度 比較増減	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.2	△ 0.1 (0.1)	△ 1.1
平成19年度 全国平均	13.3	66.5	10.2	16.5 (7.3)	106.5

(注) 1. 本表における職員数は、年度末職員数に常時雇用する臨時職員 (嘱託員) の換算数を加えたものである。

2. 四捨五入との関係において、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

3. 「事務職員及びその他職員」欄の () 内の数字は、事務職員の再掲である。

当年度末現在、職員の現員は2,273人で、定数2,292人に対して19人の欠員となっている。

前年度に比較して現員合計では32人の減、医師は298人で前年度と同数、看護部門職員は1,466人で前年度に比較して21人の減となっている。

また、病床100床当たり職員数 (常時雇用する臨時職員を含む。) は、医師が19.9人で前年度に比較して0.2人の減、看護部門職員は66.9人で前年度に比較して0.6人の減となり、全職員計では113.7人で前年度に比較して1.1人の減となっている。

2 決算諸表の概要について

(1) 決算報告書

予算額に対する決算額及び内容は、次のとおりである。

ア 収益的収入及び支出

収 入

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	執行率 (B) / (A)
	円	円	円	%
第1款 病院事業収益	41,441,663,000	41,627,868,410 (59,046,785)	186,205,410	100.4
第1項 医業収益	37,547,876,000	37,556,602,755 (34,724,944)	8,726,755	100.0
第2項 医業外収益	3,869,309,000	4,046,430,378 (24,256,858)	177,121,378	104.6
第3項 特別利益	24,478,000	24,835,277 (64,983)	357,277	101.5

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮受消費税及び地方消費税で内数である。

支 出

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年 度繰 越額	不用額	執行率 (B) / (A)
	円	円	円	円	%
第1款 病院事業費用	45,052,811,000	43,413,060,538 (294,482,712)	0	1,639,750,462	96.4
第1項 医業費用	43,607,694,000	42,125,021,115 (294,127,370)	0	1,482,672,885	96.6
第2項 医業外費用	1,284,334,000	1,192,415,202 (223,814)	0	91,918,798	92.8
第3項 特別損失	150,783,000	95,624,221 (131,528)	0	55,158,779	63.4
第4項 予備費	10,000,000	0 (0)	0	10,000,000	0.0

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮払消費税及び地方消費税で内数である。

(ア) 収益的収入の決算額は416億2,786万8,410円で、予算額414億4,166万3,000円に比較して1億8,620万5,410円の増となっている。

(イ) 収益的支出の決算額は434億1,306万538円で、予算額450億5,281万1,000円との差額16億3,975万462円が不用額となっている。

イ 資本的収入及び支出

収 入

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算額に比べ 決算額の増減	執行率 (B)/(A)
	円	円	円	%
第1款 資本的収入	10,088,389,000	10,058,578,000	△ 29,811,000	99.7
第1項 企業債	5,789,300,000	5,760,300,000	△ 29,000,000	99.5
第2項 他会計負担金	3,892,119,000	3,892,119,000	0	100.0
第3項 他会計補助金	389,104,000	389,104,000	0	100.0
第4項 国庫補助金	17,866,000	16,055,000	△ 1,811,000	89.9
第5項 固定資産売却代金	0	0	0	—
第6項 寄附金	0	1,000,000	1,000,000	皆増

支 出

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
	円	円	円	円	%
第1款 資本的支出	7,108,389,000	5,666,024,390 (13,316,228)	1,400,000,000	42,364,610	79.7
第1項 建設改良費	1,710,152,000	279,640,857 (13,316,228)	1,400,000,000	30,511,143	16.4
第2項 企業債償還金	5,398,236,000	5,386,383,533	0	11,852,467	99.8
第3項 無形固定資産	1,000	0	0	1,000	皆減
第4項 国庫補助返還金	0	0	0	0	—

(注) 決算額の下段 () 書きは、仮払消費税及び地方消費税で内数である。

(ア) 資本的収入の決算額は100億5,857万8,000円で、予算額100億8,838万9,000円に比較して2,981万1,000円の減となっている。

企業債57億6,030万円は、各病院の医療機器購入等や企業債償還金に充当したものである。予算額との差額2,900万円は、施設整備費及び資産購入費の執行残である。

他会計負担金38億9,211万9,000円は、施設整備費や医療機器購入等に対する一般会計負担金14億568万7,000円及び企業債償還金に対する一般会計負担金24億8,643万2,000円である。

他会計補助金3億8,910万4,000円は、企業債償還金に対する一般会計からの補助金である。

国庫補助金1,605万5,000円は、医療機器購入等に係る補助金で、各病院の医療機器購入等に充当された。予算額との差額181万1,000円は、交付減である。

(イ) 資本的支出の決算額は56億6,602万4,390円で、予算額71億838万9,000円に比較して14億4,236万4,610円の減となっている。これは、建設改良費の翌年度繰越額が14億円生じたことによる。繰越額は、国の補正に伴う地域活性化・生活対策臨時交付金であり、医療機器を購入することになっている。

(ウ) 予算額に対する決算額の割合は、資本的収入、資本的支出それぞれ99.7%、79.7%となっている。

(2) 損益計算書

ア 事業の経営成績は、次のとおりである。

区 分 科 目	平成20年度		平成19年度		対前年度比較	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比	(A) - (B)	増減率
	円	%	円	%	円	%
病院事業収益	41,568,821,625	100.0	44,550,067,631	100.0	△ 2,981,246,006	△ 6.7
医業収益	37,521,877,811	90.2	37,338,662,922	83.8	183,214,889	0.5
入院収益	27,595,732,834	66.4	27,774,382,707	62.3	△ 178,649,873	△ 0.6
外来収益	7,910,417,597	19.0	7,705,576,014	17.3	204,841,583	2.7
診療所収益	557,160,478	1.3	573,585,116	1.3	△ 16,424,638	△ 2.9
その他医業収益	1,458,566,902	3.5	1,285,119,085	2.9	173,447,817	13.5
医業外収益	4,022,173,520	9.7	4,846,007,222	10.8	△ 823,833,702	△ 17.0
受取利息配当金	0	0.0	661	0.0	△ 661	皆減
他会計補助金	854,997,000	2.1	775,229,000	1.7	79,768,000	10.3
国庫補助金	555,929,823	1.3	462,855,150	1.0	93,074,673	20.1
負担金交付金	2,023,445,000	4.9	3,103,635,000	7.0	△ 1,080,190,000	△ 34.8
その他医業外収益	587,801,697	1.4	504,287,411	1.1	83,514,286	16.6
特別利益	24,770,294	0.1	2,365,397,487	5.3	△ 2,340,627,193	△ 99.0
固定資産売却益	0	0.0	2,343,993,928	5.3	△ 2,343,993,928	皆減
過年度損益修正益	24,760,770	0.1	21,403,559	0.0	3,357,211	15.7
その他特別利益	9,524	0.0	0	0.0	9,524	皆増
病院事業費用	43,791,244,817	100.0	45,756,980,449	100.0	△ 1,965,735,632	△ 4.3
医業費用	41,830,893,745	95.6	43,558,274,896	95.3	△ 1,727,381,151	△ 4.0
給与費用	24,776,469,751	56.7	24,981,491,044	54.7	△ 205,021,293	△ 0.8
材料費用	9,128,033,192	20.8	9,516,364,177	20.8	△ 388,330,985	△ 4.1
経費用	5,414,576,393	12.4	5,433,604,195	11.9	△ 19,027,802	△ 0.4
減価償却費	2,351,943,265	5.4	2,570,338,541	5.6	△ 218,395,276	△ 8.5
資産減耗費	55,484,040	0.1	920,639,972	2.0	△ 865,155,932	△ 94.0
研究研修費	104,387,104	0.2	135,836,967	0.3	△ 31,449,863	△ 23.2
医業外費用	1,864,858,379	4.2	2,092,420,042	4.6	△ 227,561,663	△ 10.9
支払利息	938,936,818	2.1	1,096,127,043	2.4	△ 157,190,225	△ 14.3
繰延勘定償却	126,799,103	0.3	128,106,398	0.3	△ 1,307,295	△ 1.0
雑損失	799,122,458	1.8	868,186,601	1.9	△ 69,064,143	△ 8.0
特別損失	95,492,693	0.2	106,285,511	0.2	△ 10,792,818	△ 10.2
固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	-
過年度損益修正損	95,492,693	0.2	106,285,511	0.2	△ 10,792,818	△ 10.2
当年度純損失	2,222,423,192	-	1,206,912,818	-	1,015,510,374	84.1
前年度繰越欠損金	21,655,935,336	-	20,449,022,518	-	1,206,912,818	5.9
当年度未処理欠損金	23,878,358,528	-	21,655,935,336	-	2,222,423,192	10.3

(注1) 「構成比」欄は、四捨五入の関係上、内訳の合計と計数が一致しない場合がある。

当年度の経営成績は、22億2,242万3,192円の純損失を生じている。

このように純損失が生じた原因は、病院事業収益の415億6,882万1,625円に対し、病院事業費用が437億9,124万4,817円となっていることによる。

これを項目別にみると、医業収益375億2,187万7,811円に対して医業費用は418億3,089万3,745円で、差引き43億901万5,934円の医業損失となっている。

医業外収益は、40億2,217万3,520円の収入に対して費用は18億6,485万8,379円で、差引き21億5,731万5,141円の利益となり、これと医業損失を合計した経常損失は21億5,170万793円となっている。

特別利益2,477万294円に対して、特別損失は9,549万2,693円で、差引き7,072万2,399円の損失となっている。これと経常損失を合計した額22億2,242万3,192円が、当年度の純損失となっている。

当年度は収益が大きく減少した一方、費用の減少も大幅であったことから、純損失は、前年度の12億691万2,818円に比較して10億1,551万374円（84.1%）増と大幅に増加し、前年度繰越欠損金と合わせた当年度未処理欠損金は、238億7,835万8,528円となっている。

病院事業費用に対する病院事業収益の割合（総収支比率）は94.9%で、前年度の97.4%より悪化している。医業費用に対する医業収益の割合（医業収支比率）は89.7%で、これは前年度の85.7%より改善している。

各科目の内容は次のとおりである。

（ア）医業収益

入院収益は、入院患者数が減少したため、前年度に比較して1億7,864万9,873円（0.6%）減少している。

総収益に占める入院収益の割合は、当年度66.4%、前年度62.3%となっている。入院収益の動向が収益全体に与える影響は大きい。

外来収益は、患者数が減少したにもかかわらず、前年度に比較して2億484万1,583円（2.7%）増加している。

診療所収益は、1,642万4,638円（2.9%）減少している。

その他医業収益は、1億7,344万7,817円（13.5%）増加している。

これらの結果、医業収益は375億2,187万7,811円となり、前年度に比較して1億8,321万4,889円（0.5%）増加している。

（イ）医業外収益

負担金交付金が大幅に減少したことから、40億2,217万3,520円となり、前年度に比較して8億2,383万3,702円（17.0%）減少している。

(ウ) 医業費用

給与費は、給料、賃金、退職給与金の減等により、前年度に比較して2億502万1,293円(0.8%)減少している。給与費は総費用の56.7%を占めている。

材料費は、主に診療材料費縮減プロジェクトの実施等により、3億8,833万985円(4.1%)減少している。

経費は、修繕費、委託料等の減により、1,902万7,802円(0.4%)減少している。

減価償却費は、2億1,839万5,276円(8.5%)減少している。

資産減耗費は、前年度において計上した、旧那覇病院の建物除却費8億6,456万8,935円が減になったことにより、8億6,515万5,932円(94.0%)減少している。

これらの結果、医業費用は418億3,089万3,745円となり、前年度に比較して17億2,738万1,151円(4.0%)減少している。

(エ) 医業外費用

支払利息の9億3,893万6,818円のうち、8億8,326万5,935円が企業債利息、2,200万円が長期借入金利息、3,367万883円が一時借入金利息となっている。

雑損失は7億9,912万2,458円、うち7億788万65円が控除対象外消費税で、前年度に比較して6,906万4,143円(8.0%)減少している。

医業外費用全体では18億6,485万8,379円となり、前年度に比較して2億2,756万1,663円(10.9%)減少している。

(オ) 純損失及び未処理欠損金について

当年度の純損失額は22億2,242万3,192円で、前年度に比較して10億1,551万374円(84.1%)増加している。当年度未処理欠損金は238億7,835万8,528円となっている。

純損失額には、損益計算のうえで減価償却費、資産減耗費などの現金の支出を伴わない経費を含んでいる。平成20年度の現金の支出を伴わない経費は、総額25億3,422万6,408円で、純損失額22億2,242万3,192円からこの経費を差し引いた額は3億1,180万3,216円の純利益となっている。

同様に、当年度未処理欠損金238億7,835万8,528円から、これまでの現金の支出を伴わない経費の累計額146億2,812万5,220円を差し引いた額は92億5,023万3,308円となっている。

イ 一般会計からの繰入金

一般会計からの繰入金(収益的収入)の状況は、次のとおりである。

事 項		区 分	平成20年度	平成19年度	対前年度比較	
			金額 (A)	金額 (B)	(A) - (B)	増減率
(項) 医業収益		法第17条の2第1項第1号	千円	千円	千円	%
(目) その他医業収益		救急医療確保経費	1,166,960	1,004,551	162,409	16.2
(節) 他会計負担金						
		小 計	1,166,960	1,004,551	162,409	16.2
(項) 医業外収益		法第17条の2第1項第2号				
(目) 負担金交付金		1. 高度医療増こう費	285,195	391,306	△ 106,111	△ 27.1
		2. 結核増こう費	75,716	110,283	△ 34,567	△ 31.3
		3. 精神増こう費	723,893	954,427	△ 230,534	△ 24.2
		4. 附属診療所増こう費	19,151	45,057	△ 25,906	△ 57.5
		5. 借入資本金利子償還金	355,402	561,796	△ 206,394	△ 36.7
		6. へき地医療増こう費	12,176	12,024	152	1.3
		7. 周産期医療増こう費	138,362	448,854	△ 310,492	△ 69.2
		8. リハビリテーション増こう費	51,282	110,946	△ 59,664	△ 53.8
		9. 小児医療増こう費	362,268	468,942	△ 106,674	△ 22.7
		小 計	2,023,445	3,103,635	△ 1,080,190	△ 34.8
(項) 医業外収益		法第17条の3				
(目) 他会計補助金		1. 経営基盤強化対策経費	455,292	500,433	△ 45,141	△ 9.0
		2. 基礎年金拠出金に要する経費	332,390	199,465	132,925	66.6
		3. その他	53,001	58,656	△ 5,655	△ 9.6
		小 計	840,683	758,554	82,129	10.8
		計	4,031,088	4,866,740	△ 835,652	△ 17.2
備	1床当たり繰入額(病床数=2,354床)		1,712	2,076	△ 364	△ 17.5
考	医業収益(他会計負担金を除く。)に対する比率(%)		11.1	13.4	△ 2.3	△ 17.2

(注) 病床数は平成20年度も、平成19年度と同じく2,354床である。

収益的収入として、一般会計から繰り入れた額は、総額で40億3,108万8,000円で、前年度に比較して8億3,565万2,000円(17.2%)減少している。

内訳で見ると、法第17条の2第1項第1号(その性質上、公営企業の収入をもって充てることが適当でない経費)の負担金が1億6,240万9,000円(16.2%)増加し、同項第2号(公営企業の性質上、一般会計が一部負担する必要がある経費)の負担金交付金が10億8,019万円(34.8%)減少した。

法第17条の3(特別の理由により一般会計から補助するもの)の補助金は8,212万9,000円(10.8%)増加している。

また、医業収益（他会計負担金を除く。）に対する一般会計からの繰入比率は11.1%で前年度に比較して2.3ポイント下回っている。

なお、資本的収入として一般会計から繰り入れた額は、建設改良費30億1,537万1,000円、企業債元金償還金12億6,585万2,000円、計42億8,122万3,000円となっている。

これを、収益的収入の一般会計繰入金と合わせると、一般会計からの繰入総額は83億1,231万1,000円となり、前年度に比較して12億766万6,000円（17.0%）増加している。

ウ 病院別の経営状況

平成20年度における病院別の経営状況は、次のとおりである。（後掲別表2参照）

北部病院、中部病院及び精和病院は経営状況が改善しており、南部医療センター・こども医療センター、宮古病院及び八重山病院は経営状況が悪化している。

（ア）北部病院

総収益は59億557万2,360円で、前年度に比較して2,221万9,333円（0.4%）減少している。

医業収益は前年度に比較して0.5%増加、その他医業収益は34.3%減少している。

医業外収益は、主に負担金交付金の減により9.1%減少している。

一方、総費用は59億3,040万8,417円で、主に給与費、経費、及び減価償却費の減により前年度に比較して1億2,499万1,936円（2.1%）減少している。

この結果、当年度は2,483万6,057円の純損失となり、前年度の純損失1億2,760万8,660円に比較して1億277万2,603円の減少となっている。

また、総収支比率は99.6%で、前年度に比較して1.7ポイント上回り、医業収支比率も96.6%で、前年度に比較して2.6ポイント上回っており、経営状況は改善している。

（イ）中部病院

総収益は123億8,161万3,171円で、前年度に比較して2億2,792万9,353円（1.8%）減少している。

医業収益は入院収益の減により、前年度に比較して1.5%減少している。

医業外収益は、他会計補助金及び負担金交付金の減により5.9%減少している。

一方、総費用は123億3,229万2,021円で、給与費及び材料費の減により前年度に比較して6億9,233万1,286円（5.3%）減少している。

この結果、当年度は4,932万1,150円の純利益となり、前年度の純損失4億1,508万783円に比較して4億6,440万1,933円の増加となっている。

また、総収支比率は100.4%で、前年度に比較して3.6ポイント上回り、医業収支比率も97.2%で、前年度に比較して3.3ポイント上回っており、経営状況は改善している。

(ウ) 南部医療センター・こども医療センター

総収益は118億187万2,920円で、前年度に比較して25億6,805万9,504円（17.9%）減少している。

医業収益は、外来収益、その他医業収益の増により、前年度に比較して1.6%増加している。

医業外収益は、負担金交付金の減により28.5%減少している。

一方、総費用は135億6,189万3,427円で、給与費、経費、資産減耗費等の減により前年度に比較して9億8,003万9,258円（6.7%）減少している。

この結果、当年度は17億6,002万507円の純損失となり、前年度の純損失1億7,200万261円に比較して15億8,802万246円の増加となっている。

また、総収支比率は87.0%で、前年度に比較して11.8ポイント下回り、医業収支比率は85.0%で、前年度に比較して7.3ポイント上回っているが、経営状況は悪化している。

(エ) 宮古病院

総収益は45億245万7,338円で、前年度に比較して1億534万6,575円（2.3%）減少している。

医業収益は、入院収益の増により前年度に比較し2.2%増加している。医業外収益は、主に負担金交付金の減により25.0%減少している。

一方、総費用は45億6,213万7,056円で、主に材料費、経費、医業外費用の減により前年度に比較し7,174万1,019円（1.5%）減少している。

この結果、当年度は5,967万9,718円の純損失となり、前年度の純損失2,607万4,162円に比較し3,360万5,556円の増加となっている。

また、総収支比率は98.7%で、前年度に比較して0.7ポイント下回り、医業収支比率は89.2%で、前年度に比較して2.7ポイント上回っているが、経営状況は悪化している。

(オ) 八重山病院

総収益は47億1,951万4,355円で、前年度に比較して1億90万1,714円（2.1%）減少している。

医業収益は、外来収益及び診療所収益の減により、前年度に比較して0.6%減少している。

医業外収益は、国庫補助金、負担金交付金等の減により14.6%減少している。

一方、総費用は47億5,253万8,217円で、経費、医業外費用等の減により前年度に比較して5,064万451円（1.1%）減少している。

この結果、当年度は3,302万3,862円の純損失となり、前年度の純利益1,723万7,401円に比較して5,026万1,263円の収支悪化となっている。

また、総収支比率は99.3%で、前年度に比較して1.1ポイント下回り、医業収支比率も91.4%で、前年度に比較して0.1ポイント下回っており、経営状況は悪化している。

(カ) 精和病院

総収益は21億7,899万9,822円で、前年度に比較して8万8,154円（0.0%）増加している。

医業収益は、入院収益及び外来収益の増により、前年度に比較して7.5%増加している。

医業外収益は、負担金交付金の減により15.3%減少している。

総費用は21億9,068万9,293円で、経費、支払利息等の減少により前年度に比較して2,150万794円（1.0%）減少している。

この結果、当年度は1,168万9,471円の純損失となり、前年度の純損失3,327万8,419円に比較して2,158万8,948円の減少となっている。

総収支比率は99.5%で、前年度に比較して1.0ポイント上回り、医業収支比率も73.6%で、前年度に比較して4.9ポイント上回っており、経営状況は改善している。

エ 主な経営指標

平成20年度の主な経営指標を平成19年度全国平均と比較すると、次のとおりである。

区 分		沖 縄 県		全 国	
		平成20年度	平成19年度	平成19年度	
100床当たり入院患者数(人)		81.3	83.3	76.1	
" 外来患者数(人)		97.5	99.1	98.0	
外 来 入 院 患 者 比 率 (%)		119.8	118.9	128.8	
職員1人1日当たり患者数(人)	医 師	入 院	4.2	4.4	5.5
		外 来	5.1	5.3	7.0
	看護部門	入 院	1.2	1.2	1.1
		外 来	1.4	1.5	1.5
患者1人1日当たり診療収入、 医業収益、医業費用 (円)	診療収入	入 院	39,482	38,805	37,626
		外 来	10,113	9,725	10,761
	医業収益 (A)		24,424	23,827	24,071
	医業費用 (B)		27,229	27,796	28,459
差 引 (A)-(B)		△ 2,805	△ 3,969	△ 4,388	
職員1人1日当たり診療収入(円)	医 師	219,187	223,973	281,115	
	看護部門	61,674	61,845	58,725	
薬品使用効率 (%) (薬品収入/薬品費用×100)		83.9	115.4	111.3	
医業収益に対する職員給与費 (%)		66.0	66.9	61.5	
100床当たり職員数(人)		113.7	114.7	106.5	
1床当たり病院事業収益(千円)		17,659	18,925	18,810	
" 病院事業費用(千円)		18,603	19,438	19,321	
" 病院事業損失(千円)		944	513	511	
" 医 業 収 益(千円)		15,940	15,862	15,302	
" 医 業 費 用(千円)		17,770	18,504	18,091	
" 医 業 損 失(千円)		1,831	2,642	2,789	
総 収 支 比 率 (%)		94.9	97.4	97.4	
医 業 収 支 比 率 (%)		89.7	85.7	84.6	
他会計繰入金対医業収益(他会計負担金を除く。)比率(%)		11.1	13.4	24.2	
1 床 当 たり 繰 入 額 (千円)		1,712	2,075	3,544	
他会計繰入金(収益的収入分)対標準財政規模比率(%)		1.235	1.609	0.925	

(ア) 100床当たり患者数

入院は81.3人で全国平均の76.1人を上回り、外来は97.5人で全国平均の98.0人を下回っている。外来入院患者比率は119.8%で、全国平均の128.8%を9.0ポイント下回っている。

(イ) 職員1人1日当たり患者数

入院患者数、外来患者数とも医師が全国平均を下回り、看護部門は全国平均とほぼ同人数である。

(ウ) 患者1人1日当たり診療収入

入院は全国平均を上回っており、外来は全国平均を下回っている。また、患者1人1日当たり医業収益は全国平均を上回り、医業費用は全国平均を下回っている。また、医業損失は全国平均を下回っている。

(エ) 職員1人1日当たり診療収入

医師は全国平均を下回り、看護部門は上回っている。

(オ) 薬品使用効率

薬品使用効率は83.9%で、全国平均111.3%を27.4ポイント下回っている。

(カ) 100床当たり職員数

100床当たり職員数は113.7人で、全国平均の106.5人を7.2人上回っている。医業収益に対する職員給与費の割合は66.0%で、全国平均61.5%を4.5ポイント上回っている。

(キ) 総収支比率

総収支比率は94.9%で、全国平均97.4%を2.5ポイント下回っている。事業本体部分の収支比率である医業収支比率は89.7%で、全国平均84.6%を5.1ポイント上回っている。

(ク) 医業収益（他会計負担金を除く）に占める他会計繰入金の比率

繰入金の比率は11.1%で、全国平均24.2%に比較して13.1ポイント下回っており、1床当たり繰入額は171万2,000円で、全国平均354万4,000円に比較して183万2,000円少ない。

県の標準財政規模に対する他会計繰入金の比率は1.235%となっており、全国平均の0.925%を上回っている。

(3) 剰余金計算書

ア 利益剰余金の部

区 分	金 額
	円
前年度未処理欠損金	21,655,935,336
前年度欠損金処理額	0
繰越欠損金年度末残高	21,655,935,336
当年度純損失	2,222,423,192
当年度未処理欠損金	23,878,358,528

前年度未処理欠損金が216億5,593万5,336円あり、当該欠損金は未処理のまま当年度に繰り越され、さらに、当年度は22億2,242万3,192円の純損失を生じたため、当年度末の未処理欠損金は238億7,835万8,528円となっている。

イ 資本剰余金の部

区 分	前年度末残高	当年度発生高	当年度処分額	当年度末残額
	円	円	円	円
受贈財産評価額	939,562,885	2,946,000	4,509,692	937,999,193
寄附金	927,647	1,000,000	44,577	1,883,070
他会計負担金	6,230,449,844	3,892,119,000	40,208,597	10,082,360,247
他会計補助金	6,833,084,344	389,104,000	0	7,222,188,344
国庫補助金	15,785,162,542	16,055,000	84,677,804	15,716,539,738
計	29,789,187,262	4,301,224,000	129,440,670	33,960,970,592

(ア) 当年度発生高

当年度発生高は、固定資産の取得に充てるために受け入れた資金等の増加分を示すものである。受贈財産評価額の294万6,000円は、機械備品の寄贈等によるものである。

寄附金は100万円を受け入れた。

他会計負担金の38億9,211万9,000円は、一般会計繰出金受け入れによるものである。

他会計補助金の3億8,910万4,000円は、企業債元金償還金に係る補助金の受け入れによるものである。

国庫補助金1,605万5,000円は、施設整備及び医療機器購入等に係る補助金の受け入れによるものである。

(イ) 当年度処分額

当年度処分額は、固定資産を除却したことから、これら固定資産の取得財源の一部である他会計負担金、国庫補助金等の資本剰余金を地方公営企業法施行令第24条の2の規定により取り崩している。

発生と処分により、受贈財産評価額が156万3,692円減少、寄附金が95万5,423円増加、他会計負担金が38億5,191万403円増加、他会計補助金が3億8,910万4,000円増加、国庫補助金が6,862万2,804円減少している。

この結果、当年度末の資本剰余金残高は339億6,097万592円となり、前年度末に比較して41億7,178万3,330円（14.0%）増加している。

(4) 欠損金処理計算書

区 分	金 額
	円
当年度未処理欠損金	23,878,358,528
欠損金処理額	0
翌年度繰越欠損金	23,878,358,528

当年度未処理欠損金238億7,835万8,528円は全額翌年度へ繰り越している。

(5) 貸借対照表

事業の財政状態は、次のとおりである。

区 分 科 目	平成20年度		平成19年度		対前年度比較	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	(A) - (B)	増減率
	円	%	円	%	円	%
固 定 資 産	49,362,979,999	82.2	51,614,277,339	82.0	△ 2,251,297,340	△ 4.4
有 形 固 定 資 産	49,350,376,455	82.2	51,601,673,795	82.1	△ 2,251,297,340	△ 4.4
土 地	4,278,549,977	7.1	4,278,549,977	6.8	0	-
建 物	47,029,836,284	78.2	47,047,140,284	74.8	△ 17,304,000	△ 0.0
建物減価償却累計額	△ 10,955,269,841	△ 18.2	△ 9,950,773,375	△ 15.8	△ 1,004,496,466	10.1
構 築 物	1,897,336,521	3.2	1,897,336,521	3.0	0	-
構築物減価償却累計額	△ 692,542,614	△ 1.2	△ 620,352,758	△ 1.0	△ 72,189,856	11.6
機 械 備 品	18,716,087,675	31.2	19,116,557,531	30.4	△ 400,469,856	△ 2.1
機械備品減価償却累計額	△ 10,943,088,151	△ 18.2	△ 10,188,590,728	△ 16.2	△ 754,497,423	7.4
車 両	42,696,359	0.1	42,496,359	0.1	200,000	0.5
車両減価償却累計額	△ 25,329,755	0.0	△ 22,790,016	0.0	△ 2,539,739	11.1
建 設 仮 勘 定	0	0.0	0	0.0	0	-
その他有形固定資産	2,100,000	0.0	2,100,000	0.0	0	-
その他有形固定資産減価償却累計額	0	0.0	0	0.0	0	-
無 形 固 定 資 産	12,603,544	0.0	12,603,544	0.0	0	-
電 話 加 入 権	8,395,344	0.0	8,395,344	0.0	0	-
モ デ ム 加 入 権	4,208,200	0.0	4,208,200	0.0	0	-
流 動 資 産	9,757,860,026	16.2	10,268,496,784	16.3	△ 510,636,758	△ 5.0
現 金 ・ 預 金	796,196,965	1.3	1,664,675,337	2.6	△ 868,478,372	△ 52.2
未 収 金	8,304,170,308	13.8	7,888,459,763	12.5	415,710,545	5.3
有 価 証 券	0	0.0	0	0.0	0	-
貯 蔵 品	648,743,837	1.1	705,892,333	1.1	△ 57,148,496	△ 8.1
前 払 費 用	760,126	0.0	1,475,561	0.0	△ 715,435	△ 48.5
前 払 金	2,988,790	0.0	2,993,790	0.0	△ 5,000	△ 0.2
その他流動資産	5,000,000	0.0	5,000,000	0.0	0	-
繰 延 勘 定	956,328,623	1.6	1,071,232,158	1.7	△ 114,903,535	△ 10.7
控除対象外消費税額	956,328,623	1.6	1,071,232,158	1.7	△ 114,903,535	△ 10.7
資 産 合 計	60,077,168,648	100.0	62,954,006,281	100.0	△ 2,876,837,633	△ 4.6

区 分 科 目	平成20年度		平成19年度		対前年度比較	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	(A) - (B)	増減率
	円	%	円	%	円	%
固 定 負 債	7,017,902,529	11.8	2,037,902,529	3.3	4,980,000,000	244.4
企 業 債	2,980,000,000	5.0	0	0.0	2,980,000,000	皆増
他 会 計 借 入 金	4,000,000,000	6.7	2,000,000,000	3.2	2,000,000,000	100.0
引 当 金	37,902,529	0.1	37,902,529	0.1	0	-
流 動 負 債	6,863,847,807	11.4	14,063,962,045	22.4	△ 7,200,114,238	△ 51.2
一 時 借 入 金	2,900,000,000	4.8	8,000,000,000	12.7	△ 5,100,000,000	△ 63.8
未 払 金	3,723,300,355	6.2	5,833,259,542	9.3	△ 2,109,959,187	△ 36.2
前 受 金	0	0.0	0	0.0	0	-
そ の 他 流 動 負 債	240,547,452	0.4	230,702,503	0.4	9,844,949	4.3
負 債 合 計	13,881,750,336	23.1	16,101,864,574	25.6	△ 2,220,114,238	△ 13.8
資 本 金	36,112,806,248	60.1	38,718,889,781	61.5	△ 2,606,083,533	△ 6.7
自 己 資 本 金	1,878,584,732	3.1	1,878,584,732	3.0	0	-
借 入 資 本 金	34,234,221,516	57.0	36,840,305,049	58.5	△ 2,606,083,533	△ 7.1
企 業 債	34,234,221,516	57.0	36,840,305,049	58.5	△ 2,606,083,533	△ 7.1
利 余 金	10,082,612,064	16.9	8,133,251,926	13.0	1,949,360,138	24.0
資 本 剩 余 金	33,960,970,592	56.6	29,789,187,262	47.4	4,171,783,330	14.0
受 贈 財 産 評 価 額	937,999,193	1.6	939,562,885	1.5	△ 1,563,692	△ 0.2
寄 附 金	1,883,070	0.0	927,647	0.0	955,423	103.0
他 会 計 負 担 金	10,082,360,247	16.8	6,230,449,844	9.9	3,851,910,403	61.8
他 会 計 補 助 金	7,222,188,344	12.0	6,833,084,344	10.9	389,104,000	5.7
国 庫 補 助 金	15,716,539,738	26.2	15,785,162,542	25.1	△ 68,622,804	△ 0.4
利 益 剩 余 金	△ 23,878,358,528	△ 39.7	△ 21,655,935,336	△ 34.4	△ 2,222,423,192	10.3
当 年 度 未 処 理 欠 損 金	23,878,358,528	39.7	21,655,935,336	34.4	2,222,423,192	10.3
資 本 合 計	46,195,418,312	76.9	46,852,141,707	74.4	△ 656,723,395	△ 1.4
負 債 資 本 合 計	60,077,168,648	100.0	62,954,006,281	100.0	△ 2,876,837,633	△ 4.6

(注) 「構成比」欄は、四捨五入の関係上、内訳の合計と計数が一致しない場合がある。

当年度末の資産合計は600億7,716万8,648円で、前年度に比較して4.6%減少している。

負債合計は138億8,175万336円で前年度に比較して13.8%減少し、資本合計は461億9,541万8,312円で前年度に比較して1.4%減少している。その結果負債資本合計は600億7,716万8,648円で、前年度に比較して4.6%減少している。

資産は、建物及び機械備品の減価償却額の増等により固定資産が減少し、流動資産等の減もあり資産合計は減少している。

負債は、一時借入金、未払金ともに減少し、その結果負債合計は減少している。

剰余金に増があったものの、それ以上に資本金に減があったため資本合計は減少している。

各科目の動向は、次のとおりである。

ア 固定資産

土地には変動はなく、当年度末残高は42億7,854万9,977円となっている。

建物は、減価償却が進んだことにより10億2,180万466円の減となり、当年度末残高は360億7,456万6,443円となっている。

構築物の当年度末残高は、12億479万3,907円である。

機械備品は、減価償却等により減少があり、当年度末残高は77億7,299万9,524円となっている。

これらの結果、固定資産総額（減価償却後の残高）は493億6,297万9,999円となり、前年度末より4.4%減少している。

イ 流動資産

流動資産は97億5,786万26円で、前年度に比較して5億1,063万6,758円（5.0%）減少している。主な内訳をみると、現金・預金、貯蔵品により9億2,562万6,868円減少、未収金は4億1,571万545円増加している。

ウ 繰延勘定

控除対象外消費税額の当年度末残高は9億5,632万8,623円で、前年度に比較して10.7%減少している。

エ 固定負債

固定負債は、公立病院特例債を29億8,000万円発行したため、70億1,790万2,529円となっている。うち20億円は一般会計、20億円は沖縄県産業振興基金からの長期借入金である。

オ 流動負債

流動負債は、総額で68億6,384万7,807円で、前年度に比較して51.2%減少している。流動資産が5億1,063万6,758円減少し、流動負債も72億11万4,238円減少したため、66億8,947万7,480円が正味運転資本の増加となっており短期の資金繰りは前年度より大幅に改善している。(36p別表4-2「正味運転資本増減明細書」)

流動比率(流動資産の流動負債に対する割合)も142.2%となり、前年度の73.0%から大幅に改善している。

また、流動資産と流動負債の総額を比較すると、流動資産が28億9,401万2,219円上回っており、その額から14億円の繰越財源を差し引いても14億9,401万2,219円となり、不良債務はない。

カ 資本金

企業債は、27億8,030万円を借り入れた一方で53億8,638万3,533円を償還した結果、前年度に比較して26億608万3,533円(7.1%)減少しており、当年度末残高は342億3,422万1,516円となっている。

自己資本金には変動がない。

自己資本構成比率(負債資本合計に占める自己資本の割合)は、当年度は19.9%で前年度の15.9%に比較して4.0ポイント上昇しており、長期健全性は改善している。

キ 剰余金

資本剰余金については他会計負担金等が増加したため、41億7,178万3,330円(14.0%)の増となった。

利益剰余金は、当年度純損失22億2,242万3,192円を加えて、マイナス238億7,835万8,528円となっている。

これらの結果、剰余金は100億8,261万2,064円となり、24.0%増加している。

3 資金収支について

当年度は、受け入れ資金総額が、前年度からの繰越金16億6,467万5,337円を含めて925億6,962万9,896円、支払総額が917億7,343万2,931円で、差し引き7億9,619万6,965円の残高となっている。(37P別表5「資金収支表」)

この残高の内訳は、手持ち現金が363万2,466円、普通預金が7億9,256万4,499円で、普通預金の残高は取扱金融機関の残高証明書と一致している。

付 表

經營分析比率表

別表1

項目	算式	平成20年度		19年度 比率	対前年度 増減	19年度 平均			
		計	算内 容						
資産及び資本構成比率	(1)自己資本構成比率	自己資本(注1) 総資本(注2)	× 100	1,878,584,732 + 10,082,612,064	× 100	19.9%	15.9%	4.0%	27.8%
	(2)固定資産対長期資本比率	固定資産	× 100	60,077,168,648	× 100	92.8%	105.6%	△ 12.8%	86.7%
		長期資本(注3)	× 100	49,362,979,999	× 100	412.7%	515.5%	△ 102.8%	287.2%
	(3)固定比率	固定資産	× 100	1,878,584,732 + 10,082,612,064	× 100	142.2%	73.0%	69.2%	229.4%
		自己資本	× 100	9,757,860,026	× 100	132.6%	67.9%	64.7%	218.1%
	(4)流動比率	流動資産	× 100	6,863,847,807	× 100	回	回	△ 0.11	1.71
		流動負債	× 100	796,196,965 + 8,304,170,308	× 100	回	回	0.05	0.59
	(5)当座比率	現金預金+未収金	× 100	6,863,847,807	× 100	回	回	△ 0.16	5.92
		流動負債	× 100	37,521,877,811	× 100	回	回	△ 1.76	0.50
	(6)自己資本回転率	業収益	(期首自己資本+期末自己資本)÷2	37,521,877,811	回	3.42	3.53	△ 0.11	1.71
		業収益	(期首固定資産+期末固定資産)÷2	(10,011,836,658 + 11,961,196,796)÷2	回	0.74	0.69	0.05	0.59
	(7)固定資産回転率	業収益	(期首流動資産+期末流動資産)÷2	37,521,877,811	回	3.75	3.79	△ 0.04	2.60
		業収益	(期首流動資産+期末流動資産)÷2	(10,268,496,784 + 9,757,860,026)÷2	回	4.63	4.79	△ 0.16	5.92
	(8)流動資産回転率	業収益	(期首未収金+期末未収金)÷2	37,521,877,811	回	4.63	4.79	△ 0.16	5.92
		業収益	(期首未収金+期末未収金)÷2	(7,888,459,763 + 8,304,170,308)÷2	回	4.63	4.79	△ 0.16	5.92
	(9)未収金回転率	業収益	(期首総資本+期末総資本)÷2	△ 2,222,423,192	%	△ 3.61	△ 1.85	△ 1.76	0.50
業収益		(期首総資本+期末総資本)÷2	(62,954,006,281 + 60,077,168,648)÷2	%	△ 3.61	△ 1.85	△ 1.76	0.50	
(10)総資本利益率	総収益	× 100	41,568,821,625	× 100	94.9%	97.4%	△ 2.5	96.2%	
	総費用	× 100	43,791,244,817	× 100	89.7%	85.7%	4.0%	84.3%	
(11)総収益対総費用比率	業収益	× 100	37,521,877,811	× 100	219,187	223,973	△ 4,786	281,839	
	業費用	× 100	41,830,893,745	× 100	61,674	61,845	△ 171	58,096	
(12)医業収益対医業費用比率	入院外来収益	年延職員数	36,063,310,909	164,532	219,187	223,973	△ 4,786	281,839	
	入院外来収益	年延職員数	36,063,310,909	584,743	61,674	61,845	△ 171	58,096	
(13)職員一人一日当り収入(医師)	薬品費(注4)	年延入院外患者数	3,860,093,311	1,536,288	2,513	2,365	148	3,086	
	薬品費(注4)	年延入院外患者数	1,536,288	8,809,823,279	23.5%	24.6%	△ 1.1	27.2%	
(14)職員一人一日当り収入(看護部門)	医療材料費(注5)	× 100	37,521,877,811	× 100	23.5%	24.6%	△ 1.1	27.2%	
	医療材料費(注5)	× 100	37,521,877,811	× 100	23.5%	24.6%	△ 1.1	27.2%	

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金 = 1,878,584,732 + 10,082,612,064 = 11,961,196,796円
 2 総資本 = 自己資本 + 負債資本合計 = 60,077,168,648円
 3 長期資本 = 自己資本 + 剰余金 + 固定負債 = 36,112,806,248 + 10,082,612,064 + 7,017,902,529 = 53,213,320,841円
 4 薬品費(投薬、注射にかかる薬品費で検査試薬、造影剤等を除いた薬品費) = 5,378,092,292 - 1,517,998,981 = 3,860,093,311円
 5 医療材料費 = 給食材料費 = 9,128,033,192 - 318,209,913 = 8,809,823,279円

病院別比較損益計算書

別表2

(単位:円、%)

区分	県立病院			院計			北部病院			中部病院			伸率
	平成20年度決算		増減	平成20年度決算		増減	平成19年度決算		増減	平成20年度決算		増減	
	平成19年度決算	伸率	伸率	平成19年度決算	伸率	平成19年度決算	伸率	平成20年度決算	伸率	平成20年度決算	伸率		
病院事業収益	41,568,821,625	△ 2,981,245,005	△ 6.7	44,550,057,631	△ 2,981,245,005	△ 6.7	5,905,572,360	△ 22,219,333	△ 0.4	12,381,613,171	△ 227,929,353	△ 1.8	
医療収益	37,521,877,811	183,214,889	0.5	37,338,662,922	183,214,889	0.5	5,419,017,441	25,179,705	0.5	11,548,310,271	△ 178,479,689	△ 1.5	
入院収益	27,595,732,894	△ 178,649,873	△ 0.6	27,774,382,707	△ 178,649,873	△ 0.6	3,756,531,046	19,872,050	0.5	8,992,795,687	△ 341,362,473	△ 3.7	
外来収益	7,910,417,597	204,841,583	2.7	7,705,576,014	204,841,583	2.7	1,448,703,549	64,596,507	4.7	2,099,939,443	36,402,735	1.8	
診療所収益	557,160,478	△ 16,424,638	△ 2.9	573,585,116	△ 16,424,638	△ 2.9	108,959,649	△ 4,454,089	△ 3.9	24,274,017	△ 1,426,480	△ 5.6	
その他医療収益	1,458,566,902	173,447,817	13.5	1,285,119,085	173,447,817	13.5	104,823,197	△ 54,834,763	△ 34.3	431,301,124	127,906,539	42.2	
医療外収益	4,022,173,520	△ 823,833,702	△ 17.0	4,846,007,222	△ 823,833,702	△ 17.0	484,271,763	△ 48,754,221	△ 9.1	826,041,772	△ 51,844,507	△ 5.9	
受取利息配当金	0	△ 661	皆減	661	△ 661	皆減	0	0	—	0	△ 661	皆減	
他会計補助金	854,997,000	79,768,000	10.3	775,229,000	79,768,000	10.3	113,588,000	△ 30,952,000	△ 21.4	232,098,000	△ 22,922,000	△ 9.0	
国庫補助金	555,929,823	93,074,673	20.1	462,855,150	93,074,673	20.1	72,709,361	22,697,361	45.4	141,783,380	13,869,380	10.9	
負担金交付金	2,023,445,000	△ 1,080,190,000	△ 34.8	3,103,635,000	△ 1,080,190,000	△ 34.8	241,423,000	△ 59,925,000	△ 19.9	189,180,000	△ 38,120,000	△ 16.8	
その他医療外収益	587,801,697	83,514,286	16.6	504,287,411	83,514,286	16.6	56,551,401	19,425,418	52.3	262,980,392	△ 4,701,226	△ 1.8	
特別利益	24,770,294	△ 2,340,627,193	△ 99.0	2,365,397,487	△ 2,340,627,193	△ 99.0	2,283,157	1,355,183	146.0	7,261,128	2,394,843	49.2	
固定資産売却益	0	△ 2,343,993,928	皆減	2,343,993,928	△ 2,343,993,928	皆減	0	0	—	0	0	—	
過年度損益修正益	24,760,770	3,357,211	15.7	21,403,559	3,357,211	15.7	2,273,633	927,974	145.0	7,261,128	4,866,285	49.2	
その他特別利益	9,524	9,524	皆増	0	9,524	皆増	9,524	0	皆増	0	0	—	
病院事業費用	43,791,244,817	△ 1,965,735,632	△ 4.3	45,756,980,449	△ 1,965,735,632	△ 4.3	5,930,408,417	△ 124,991,936	△ 2.1	12,332,292,021	△ 692,331,286	△ 5.3	
医療費用	41,830,893,745	△ 1,727,381,151	△ 4.0	43,558,274,896	△ 1,727,381,151	△ 4.0	5,608,503,157	△ 128,276,303	△ 2.2	11,878,378,541	△ 610,495,171	△ 4.9	
給与費	24,776,469,751	△ 205,021,293	△ 0.8	24,981,491,044	△ 205,021,293	△ 0.8	3,300,397,202	△ 68,343,573	△ 2.0	6,720,777,567	△ 174,316,182	△ 2.5	
材料費	9,128,033,192	△ 388,330,985	△ 4.1	9,516,364,177	△ 388,330,985	△ 4.1	1,418,671,841	65,215,339	4.8	2,896,294,142	△ 388,344,413	△ 11.8	
経費	5,414,576,393	△ 19,027,802	△ 0.4	5,433,604,195	△ 19,027,802	△ 0.4	741,779,729	△ 33,561,373	△ 4.3	1,621,807,502	44,707,096	2.8	
減価償却費	2,351,943,265	△ 218,395,276	△ 8.5	2,570,338,541	△ 218,395,276	△ 8.5	126,289,167	△ 81,986,490	△ 39.4	566,646,303	△ 95,306,510	△ 14.4	
資産減耗費	55,484,040	△ 855,155,932	△ 94.0	920,639,972	△ 855,155,932	△ 94.0	6,747,960	17,022,143	△ 60.4	31,477,117	14,099,204	81.1	
研究研修費	104,387,104	△ 31,449,853	△ 23.2	135,836,967	△ 31,449,853	△ 23.2	14,617,258	13,923,281	5.0	41,375,910	△ 11,334,366	△ 21.5	
医療外費用	1,864,888,379	△ 227,561,653	△ 10.9	2,092,450,042	△ 227,561,653	△ 10.9	305,454,876	△ 7,090,867	△ 2.3	498,589,099	△ 64,152,065	△ 12.8	
支払利息	938,936,818	△ 157,190,225	△ 14.3	1,096,127,043	△ 157,190,225	△ 14.3	183,781,239	195,944,975	△ 6.2	191,091,003	△ 36,277,950	△ 16.0	
繰延勘定償却	126,799,103	△ 1,307,295	△ 1.0	128,106,398	△ 1,307,295	△ 1.0	9,678,730	74,220	0.8	24,172,536	1,030,975	4.5	
雑損失	799,122,458	△ 69,064,143	△ 8.0	868,186,601	△ 69,064,143	△ 8.0	111,994,907	5,008,649	4.7	223,325,560	△ 28,905,090	△ 11.5	
特別損失	95,492,693	△ 10,792,818	△ 10.2	106,285,511	△ 10,792,818	△ 10.2	16,450,384	10,365,234	170.3	15,324,381	△ 17,684,050	△ 53.6	
固定資産売却損	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—	
過年度損益修正損	95,492,693	△ 10,792,818	△ 10.2	106,285,511	△ 10,792,818	△ 10.2	16,450,384	10,365,234	170.3	15,324,381	△ 17,684,050	△ 53.6	
純損益	△ 2,222,423,192	△ 1,015,510,374	84.1	△ 1,206,912,818	△ 1,015,510,374	84.1	△ 24,836,057	102,772,603	△ 80.5	△ 49,321,150	△ 464,401,933	△ 111.9	
総収支比率	94.9	2.4	—	97.4	2.4	—	99.6	97.9	—	100.4	96.8	—	
医療収支比率	89.7	△ 4.0	—	85.7	△ 4.0	—	96.6	94.0	—	97.2	△ 3.3	—	

別表2

病院別比較損益計算書

(単位:円、%)

区分	南部医療センター・こども医療センター			宮古病院			八重山病院			伸率
	平成20年度決算	平成19年度決算	伸率	平成20年度決算	平成19年度決算	伸率	平成20年度決算	平成19年度決算	伸率	
病院事業収益	11,801,872,920	14,369,932,424	△ 17.9	4,502,457,338	4,607,803,913	△ 2.3	4,719,514,355	4,820,416,069	△ 100,901,714	△ 2.1
医療収益	10,835,980,633	10,669,362,869	1.6	3,946,437,665	3,860,731,225	2.2	4,210,381,354	4,235,472,088	△ 25,090,734	△ 0.6
入院収益	7,842,855,222	7,979,130,641	△ 1.7	2,886,694,074	2,774,717,065	4.0	2,907,283,608	2,828,410,346	78,873,262	2.8
外来収益	2,017,305,876	1,795,813,195	12.3	888,833,169	935,821,982	△ 5.0	1,118,619,999	1,215,507,409	△ 96,887,410	△ 8.0
診療所収益	231,914,875	232,816,306	△ 0.4	60,482,027	62,713,843	△ 3.6	131,529,910	138,940,722	△ 7,410,812	△ 5.3
その他医療収益	743,604,660	660,602,727	12.6	110,428,395	87,478,335	26.2	52,947,837	52,613,611	334,226	0.6
医療外収益	964,815,094	1,349,602,447	△ 28.5	555,104,788	740,049,536	△ 25.0	498,255,164	583,409,076	△ 85,143,912	△ 14.6
受取利息配当金	0	0	—	0	0	—	0	0	0	—
他会計補助金	229,675,000	107,944,000	112.8	94,716,000	97,086,000	△ 2.4	92,139,000	86,725,000	5,414,000	6.2
国庫補助金	195,951,040	174,512,000	12.3	27,679,911	27,823,650	△ 0.5	75,362,440	80,612,000	△ 5,249,560	△ 6.5
負担金交付金	322,885,000	919,323,000	△ 64.9	421,047,000	604,668,000	△ 30.4	313,325,000	393,045,000	△ 79,720,000	△ 20.3
その他医療外収益	216,304,054	147,823,447	46.3	11,661,877	10,471,886	11.4	17,438,724	23,027,076	△ 5,588,352	△ 24.3
特別利益	1,377,193	2,360,967,108	△ 99.9	914,885	7,023,152	△ 87.0	10,867,837	1,534,905	9,332,932	608.0
固定資産売却益	0	2,343,993,928	皆減	0	0	—	0	0	0	—
過年度損益修正益	1,377,193	6,973,180	△ 80.3	914,885	7,023,152	△ 87.0	10,867,837	1,534,905	9,332,932	608.0
その他特別利益	0	0	—	0	0	—	0	0	0	—
病院事業費用	13,561,893,427	14,541,932,665	△ 6.7	4,562,137,056	4,633,878,075	△ 1.5	4,752,538,217	4,803,178,668	△ 50,640,451	△ 1.1
医療費用	12,752,241,638	13,736,378,905	△ 7.2	4,425,885,897	4,465,639,060	△ 0.9	4,605,399,336	4,628,633,271	△ 23,233,935	△ 0.5
給与費	6,945,059,257	7,004,706,119	△ 0.9	2,921,834,683	2,875,578,071	1.6	2,958,738,017	2,925,342,227	33,395,790	1.1
材料費	2,810,325,759	2,815,349,053	△ 0.2	786,241,823	836,709,593	△ 6.0	925,246,220	938,792,599	△ 13,546,379	△ 1.4
経費	1,668,479,604	1,685,454,664	△ 1.1	550,309,608	574,207,516	△ 4.2	556,089,121	585,139,767	△ 29,050,646	△ 5.0
減価償却費	1,297,349,779	1,315,397,468	△ 1.4	154,616,540	160,968,543	△ 3.9	149,030,845	162,181,752	△ 13,150,907	△ 8.1
資産減耗費	9,805,298	879,827,688	△ 88.9	3,558,638	3,177,864	12.0	3,774,137	3,136,714	637,423	20.3
研究研修費	23,220,941	35,643,913	△ 34.9	9,324,605	14,997,473	△ 37.8	12,520,996	14,040,212	△ 1,519,216	△ 10.8
医療外費用	791,287,722	771,282,436	2.6	127,138,161	144,457,267	△ 12.0	124,186,256	166,665,393	△ 42,479,137	△ 25.5
支払利息	422,318,517	445,009,079	△ 5.1	58,308,200	70,843,010	△ 17.7	43,898,120	84,693,670	△ 40,795,550	△ 48.2
繰延勘定償却	82,214,754	83,021,753	△ 1.0	3,618,206	5,076,481	△ 28.7	5,678,417	5,807,820	△ 129,403	△ 2.2
雑損失	286,754,451	243,251,604	17.9	65,211,755	68,537,776	△ 4.9	74,609,719	76,163,903	△ 1,554,184	△ 2.0
特別損失	18,364,067	34,271,344	△ 46.4	9,112,998	23,781,748	△ 61.7	22,952,625	7,880,004	15,072,621	191.3
固定資産売却損	0	0	—	0	0	—	0	0	0	—
過年度損益修正損	18,364,067	34,271,344	△ 46.4	9,112,998	23,781,748	△ 61.7	22,952,625	7,880,004	15,072,621	191.3
純損益	△ 1,760,020,507	△ 172,000,261	923.3	△ 59,679,718	△ 26,074,162	128.9	△ 33,023,862	17,237,401	△ 50,261,263	△ 291.6
総収支比率	87.0	98.8	—	98.7	99.4	—	99.3	100.4	1.1	—
医療収支比率	85.0	77.7	—	89.2	86.5	—	91.4	91.5	0.1	—

別表2 病院別比較損益計算書 (単位:円、%)

区分	精和病院		病院		院		業局	
	平成20年度決算	平成19年度決算	増減	仲率	平成20年度決算	平成19年度決算	増減	仲率
病院事業収益	2,178,999,822	2,178,911,688	88,154	0.0	78,791,659	35,669,340	43,122,319	120.9
医業収益	1,562,050,447	1,452,443,044	109,607,403	7.5	0	26,000	△ 26,000	皆減
入院収益	1,209,573,197	1,121,307,499	88,265,698	7.9	0	0	0	—
外来収益	337,015,561	309,789,678	27,225,883	8.8	0	0	0	—
診療所収益	0	0	0	—	0	0	0	—
その他医業収益	15,461,689	21,345,867	△ 5,884,178	△ 27.6	0	26,000	△ 26,000	皆減
医業外収益	615,194,467	726,390,561	△ 111,196,094	△ 15.3	78,480,473	35,643,340	42,837,133	120.2
受取利息配当金	0	0	0	—	0	0	0	—
他会計補助金	72,508,000	64,808,000	7,700,000	11.9	20,273,000	19,106,000	1,167,000	6.1
国庫補助金	440,750	329,500	111,250	33.8	42,002,941	1,682,000	40,320,941	2397.2
負担金交付金	535,885,000	657,938,000	△ 122,353,000	△ 18.6	0	13,000	△ 13,000	皆減
その他医業外収益	6,660,717	3,315,061	3,345,656	100.9	16,204,532	14,842,340	1,362,192	9.2
特別利益	1,754,908	78,063	1,676,845	2148.1	311,186	0	311,186	皆増
固定資産売却益	0	0	0	—	0	0	0	—
過年度損益修正益	1,754,908	78,063	1,676,845	2148.1	311,186	0	311,186	皆増
その他特別利益	0	0	0	—	0	0	0	—
病院事業費用	2,190,689,293	2,212,190,687	△ 21,500,794	△ 1.0	461,286,386	485,777,274	△ 24,490,888	△ 5.0
医業費用	2,121,826,878	2,115,054,595	6,762,283	0.3	438,658,298	386,905,893	51,752,405	13.4
給与費	1,611,065,021	1,598,891,064	12,173,957	0.8	318,598,004	313,139,039	5,458,965	1.7
材料費	291,252,407	287,417,875	3,834,532	1.3	0	0	0	—
経費	158,104,821	162,657,934	△ 4,553,113	△ 2.8	120,006,008	73,682,806	46,323,202	62.9
減価償却費	58,010,631	61,562,308	△ 3,551,677	△ 5.8	0	0	0	—
資産減耗費	120,890	97,650	23,240	23.8	0	0	0	—
研究研修費	3,273,108	4,437,764	△ 1,164,656	△ 26.2	54,286	84,048	△ 29,762	△ 36.4
医業外費用	57,218,541	95,871,288	△ 28,652,747	△ 29.9	10,963,724	98,866,751	△ 87,883,027	△ 88.9
支払利息	38,827,653	71,528,022	△ 32,700,369	△ 45.7	712,086	739,334	△ 27,248	△ 3.7
繰延勘定償却	1,436,460	1,454,273	△ 17,813	△ 1.2	0	0	0	—
雑損失	28,954,428	22,888,993	4,065,435	17.8	10,271,638	98,127,417	△ 87,855,779	△ 89.5
特別損失	1,643,874	1,254,204	389,670	31.1	11,644,364	4,630	11,639,734	251398.1
固定資産売却損	0	0	0	—	0	0	0	—
過年度損益修正損	1,643,874	1,254,204	389,670	31.1	11,644,364	4,630	11,639,734	251398.1
純損益	△ 11,689,471	△ 33,278,419	21,588,948	△ 64.9	△ 382,494,727	△ 450,107,934	67,613,207	△ 15.0
総収支比率	99.5	98.5	△ 1.0	—	17.1	7.3	△ 9.7	—
医業収支比率	73.6	68.7	△ 4.9	—	0.0	0.0	0.0	—

病院別経営指標

区	分	県立病院計		北部病院		中部病院		医療センター		宮古病院		八重山病院		精和病院		平成19年度全国平均			
		平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	全事業	黒字病院	赤字病院	字	
病床利用率(%)		81.3	83.0	84.3	88.1	92.5	95.8	92.5	95.8	65.1	66.2	69.9	68.3	76.2	74.7	76.7	83.4	74.3	
		1,915	1,956	276	288	509	527	401	416	256	260	245	239	229	226	247	253	245	
1日平均患者数	入院(人)	3,460	3,475	603	596	865	858	776	771	490	488	610	655	116	106	462	433	473	
	外来(人)																		
職員1人1日当たり患者数	医師	4.2	4.4	5.1	6.0	3.3	3.3	2.7	3.1	6.2	6.4	5.5	5.6	25.4	21.5	5.5	5.5	5.4	
	外来(人)	5.1	5.3	7.4	8.3	3.7	3.6	3.5	3.8	7.9	8.0	9.2	10.2	8.5	6.8	7.0	6.6	7.2	
	入院(人)	1.2	1.2	1.2	1.4	1.1	1.2	0.9	0.9	1.4	1.5	1.2	1.2	2.0	1.9	1.1	1.2	1.1	
	看護師	1.4	1.5	1.8	1.9	1.3	1.3	1.2	1.2	1.8	1.9	2.1	2.3	0.7	0.6	1.5	1.5	1.5	
外来入院患者比率(%)		119.8	118.9	145.0	138.6	112.8	108.9	128.2	124.1	127.0	125.8	165.3	183.6	33.5	31.4	128.8	119.5	132.6	
	入院(円)	39,482	38,805	37,327	35,451	48,445	48,385	53,538	52,438	30,901	29,141	32,560	32,348	14,489	13,573	37,626	38,140	37,418	
患者1人1日当たり診療収入		10,113	9,725	10,676	10,252	10,145	9,943	11,974	10,752	8,001	8,335	8,472	8,435	12,040	11,937	10,761	11,654	10,436	
	外来(円)																		
患者1人1日当たり薬品費(円)		2,513	2,365	2,554	2,354	2,888	2,840	3,711	3,053	1,265	1,324	1,494	1,708	2,034	2,034	3,228	3,674	3,057	
	薬品使用効率(%)	83.9	115.4	78.1	113.2	72.4	120.2	71.7	110.2	115.2	122.3	128.7	111.7	117.9	118.8	111.3	108.9	112.4	
医療収益に対する材料費(%)		23.5	24.6	25.1	24.0	24.2	27.1	25.9	26.4	18.5	20.2	20.8	21.0	15.3	16.0	27.1	27.5	26.9	
	医療収益に対する職員給与費(%)	65.7	66.6	61.4	62.9	58.7	59.3	64.8	66.3	74.5	74.9	70.8	69.5	103.5	110.4	61.5	57.2	63.3	
平均在院日数(日)		15.8	15.6	14.6	13.5	12.4	12.1	13.6	14.6	17.3	18.0	13.9	12.9	210.1	247.1	18.0	17.9	18.0	

別表4-1

資金運用表

(単位：円)

資金の使途		資金の源泉	
項目	金額	項目	金額
繰延勘定の増加	11,895,568	建物の減少	995,346,774
企業債の償還	5,386,383,533	構築物の減少	72,189,856
当年度純損失	2,222,423,192	機械備品の減少	364,260,165
		車両の減少	2,339,739
		受贈財産評価額の増加	2,946,000
		寄付金の増加	955,423
		他会計負担金の増加	3,851,954,980
		他会計補助金の増加	389,104,000
		国庫補助金の増加	16,055,000
		固定資産除却費	40,250,960
		減価償却費	687,677,773
		繰延勘定償却	126,799,103
		企業債（借入資本金）	2,780,300,000
		企業債（固定負債）	2,980,000,000
正味運転資本の増加	6,689,477,480	他会計借入金	2,000,000,000
合計	14,310,179,773	合計	14,310,179,773

別表4-2

正味運転資本増減明細書

(単位：円)

増		減	
項目	金額	項目	金額
未収金の増加	415,710,545	現金預金の減少	868,478,372
一時借入金	5,100,000,000	貯蔵品の減少	57,148,496
未払金の減少	2,109,959,187	前払費用の減少	715,435
		前払金の減少	5,000
		その他流動負債の増加	9,844,949
		正味運転資本の増加	6,689,477,480
合計	7,625,669,732	合計	7,625,669,732

別表5

資金収支表

(単位：円)

項目	金額	備考
(収入)		医業収益内訳
1 前期繰越	1,664,675,337	1. 入院収益 22,485,676,076
2 医業収益	29,921,438,204	2. 外来収益 6,700,951,954
3 医業外収益	550,280,499	3. 診療所収益 463,273,603
4 特別利益	17,939,358	4. その他医業収益 271,536,571
5 寄付金	1,000,000	
6 一般会計繰入金	8,312,311,000	
7 国庫補助金	532,192,000	
8 企業債	5,760,300,000	
9 長期借入金	2,000,000,000	
10 一時借入金	10,300,000,000	
11 戻入金	48,910,861	
12 預り諸税等	2,843,425,084	
13 前年度未収金	6,061,157,553	
14 固定資産売却代金	0	
15 その他投資	0	
16 その他(付け替え等)	24,556,000,000	
収入合計	92,569,629,896	
(支出)		医業費用内訳
1 医業費用	36,694,761,054	1. 給与費 23,343,760,745
2 医業外費用	1,006,944,566	2. 材料費 8,093,268,669
3 特別損失	△ 40,329,727	3. 経費 5,152,882,607
4 一時借入金償還金	15,400,000,000	4. 資産減耗費 0
5 長期借入金償還金	0	5. 研究研修費 104,849,033
6 企業債償還金	5,386,383,533	
7 建設改良費	130,063,306	
8 払戻金	17,202,172	
9 預り諸税等	2,831,937,276	
10 前年度未払金	5,765,226,951	
11 前払金(消費税)	22,501,500	
12 前払金	2,710,300	
13 前払費用	32,000	
14 未払費用	0	
15 その他(付け替え等)	24,556,000,000	
支出合計	91,773,432,931	
収支差引	796,196,965	1. 現金 3,632,466 2. 普通預金 792,564,499